

【山崎名誉主宰の俳句】

待つて居給え

山崎 聰

いちにち晴れいちにちは風さんがつは  
なんとなく半日経って春北風  
もうすこし寝ていたいから春の雪  
春の雲待つて居給えじきに行く  
ふと立ち止まる蝌蚪群れているあたり  
春の月右へ行こうか戻ろうか  
春ゆえにさてもなんきん玉すだれ  
春帽子きのうの夢に出たような  
寂滅為楽磯巾着うごめいて

駒志津子さん逝く

どうしてなぜああ雪解けの山が呼ぶ